

Animal Express

KASP 通信 No. 3

2014. 6. 1

日本の動物福祉がこれからどんどん進展していきますね！

▼2014 年国連報告

EU圏内の、肉・乳製品の消費量を半分に減らしたら、温室効果ガスの 25~40%を削減し、また大気汚染や水質汚染を軽減することもできるとの研究結果が発表されました。“デミタリアン”(demitarian diet) という肉と乳製品の消費を半分にする食生活の選択というアイデアもこれに紹介されていました。

▼イルカについて

世界では 13 の国でイルカの展示は禁止。
世界の 70 以上の水族館がイルカなどの鯨類を展示しないと宣言。
2011 年、トルコのイスタンブール市長は「動物を犠牲にした娯楽はあるべきではない」として、イルカ水族館の閉鎖を決定。
2012 年、香港航空がイルカ輸送を禁止。
同年、スイスがイルカ輸入の禁止法案を可決。
2013 年、インド政府はイルカ飼育の禁止を決定。

野生の生き物は野生のままに！という志向が海外では強いようです。
僕たちも水族館について 0 から考えてみる岐路に立たされているかもしれませんね。

▼農水省、アニマルウェルフェアサイト新設！

農水省に、アニマルウェルフェア（畜産動物福祉）のサイトができました。

http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/animal_welfare.html

乳用牛・肉用牛・豚・採卵鶏・ブロイラー・馬の畜種別に「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」を民間団体で策定し、その普及に努めているようです。

▼Food Freedom とは・

イギリスでは、畜産動物の全過程における福祉が考慮されています。RSPCA(イギリス王立動物虐待防止協会) はフリーダムフードの認証を食品メーカーの申請に対して、審査して出しています。フリーダムフードの認証は産業動物がその育成、移動、と殺まで人道的な扱いを受けた証です。イギリスでは、動物に苦痛をしいた食品でないものを選ぶ消費者が多く、その選別にフリーダムフード証が役立つとのことです。

フリーダムフードは、イギリスで最も古い動物保護団体 RSPCA によって、家畜のアニマルウェルフェアの改善のために消費者に理解されやすい食品ラベルとして 1994 年に開発され、フリーダムフード株式会社によって運営されています。フリーダムフードのラベル表示のある食品は、イギリスでは消費者がほとんどの大手スーパーで購入できる非常に一般的な食品となってきました。日本にも同じような認証制度があると「食の選択」をしやすくなりますね。



▼最近のトピック

最近動物関係の団体が新設されていますが、その動きが早く多いため一度整理したいと思い、まとめました。

クリステル・ヴィ・アンサンブル

<http://www.christelfoundation.org/>

動物保護や生物多様性保全を目的とした一般財団法人を設



立した。「ヴィ・アンサンブル (VIE ENSEMBLE)」はフランス語で、「ともに人生を歩む」「一緒に命」の意味。

財団の主な活動は「2020年を目標に、犬猫の殺処分、放棄、虐待行為ゼロを目指す」「生態系の頂点にいる絶滅の危機に瀕(ひん)した野生動物を救い、生態系を守ることをミッションに活動する」。保健所での殺処分前の犬猫を保護したり、飼い主を探したりするシェルターをさまざまな面から支援するほか、絶滅危惧種の保護施設や保護活動に力を入れています。

TOKYO ZERO キャンペーン

<http://tokyozero.jp/>

TOKYO ZERO

すべてのペットが幸せになれる東京へ

2020年東京五輪までに都内のイヌやネコの殺処分件数をゼロにすることを目指しています。

キャンペーンには芸能、文化、運動など多くの分野から浅田美代子や久石譲ら著名人37人が名を連ねました。

- ① ペット産業適正化のために「8週齢規制」を早期実施
- ② 捨てられた犬や猫の福祉向上のための「ティアハイム」の設立
- ③ 「保護犬」「保護猫」との出会いを広めるこの3つを具体的な活動として掲げています。

EVA (エヴァ)

http://www.eva.or.jp/gm_overview/

EVAとはラテン



語で「命、命あるもの」という意味です。

杉本彩さんが立ち上げた団体です。

動物の環境と福祉の整備を図るとともに、広く国民に対する動物愛護精神の啓発に関する事業を行うことにより、人々が動物の生命の尊厳を守り、人と

動物が共生することのできる思いやりのある社会の実現に寄与することを目的とします。すでに幅広い精力的な活動を行っているので要チェック！

国民への動物愛護の啓蒙啓発

(チャリティーイベントやシンポジウムの開催、講演、写真展、映画上映会、出版等)

動物保護施設への寄付などのサポート

子供たちへの命の教育

動物愛護管理法の改正や整備を求める活動

各自治体への適正な管理への働きかけとサポート

などを具体的に行っています。

●KASPについて

～Kyoto Ani-love Students Party～

KASPは「京都の学生がつながり、大きな力で『動物の命の大切さ』を発信する」という理念のもと、人と動物の共生を考えるきっかけを提供することを目的として活動しています。

動物が好き、人が好き、人と動物がより良く生きられるような社会になるように貢献したい！そんな熱い思いを持ち、私たちと一緒に活動してくれる仲間を募集しています！！京都以外の学生でもOK！高校生もOKです！あなたのご連絡をまっています。

KASP 連絡先 : kasp2013@gmail.com

HP : <http://kasp2013.wordpress.com/>

Twitter : @KASP2013

